

東京文化財ウィーク 2025 企画事業

東京都指定史跡

尾崎遺跡の展示解説会



開催日時

11月1日（土）

① 午前10時～10時40分

② 午後2時～2時40分

会場

練馬区立 春日小学校

1階 資料展示室（春日町5-12）

※都営大江戸線練馬春日町駅 徒歩8分

事前申込み不要、当日に直接会場へお越し下さい。

<主催・問合せ先>

練馬区 文化・生涯学習課 伝統文化係 ☎03（5984）2442

【尾崎遺跡について】

昭和 54～55 年に小学校建設に先立ち発掘調査が行われ、旧石器時代から近世にかけての遺物が出土しました。

出土品には、縄文時代早期の底の尖った、尖底（せんてい）土器や、平安時代の側面に「仲」と墨で書かれた須恵器の坏（つき）、奈良・平安時代に火をおこすのに使われた木製品など貴重なものがあります。他にも、中世の古銭や板碑（いたび）と呼ばれる供養塔も出土しており、これらの出土品は区指定文化財となっています。

また、遺跡は保存のために埋め戻され、現在はグラウンドとなり、東京都指定史跡となっています。



左から 縄文時代の尖底土器、中世の板碑と古銭

弥生土器の甕（奥）と土師器・須恵器の坏（手前）



春日小学校へのアクセス

都営大江戸線練馬春日町駅から
徒歩約 8 分。

A 1 出口を出て、豊島園通りを
道沿いに進み二又を右に。春日
町三丁目公園を過ぎて、二又を
右に進み、春日小学校正門側へ
回る。

この地図の著作権は練馬区が有しています。